

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」
発生直後の地震の解析結果について

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生直後は余震活動が極めて活発で地震が極めて数多く発生したため、余震域を中心に震源及びマグニチュードの解析ができていない地震がありました。このたび、本震発生（平成23年3月11日14時46分頃）から翌日24時までのデータについて後日（独）防災科学技術研究所から提供を受けた地震データも併せて精査しました。この結果、同期間中に余震域内で発生し解析された地震は、下表のとおり増加しています。なお、平成23年3月13日以降の地震についても震源及びマグニチュードの解析ができていないものがありますので、引き続き精査を進めてまいります。

マグニチュード (M)	余震域内の地震数(平成23年3月11日14時46分頃～12日24時)		
	精査前	精査後	増加数
～3.9*	235	773	538
4.0～4.9	251	545	294
5.0～5.9	185	233	48
6.0～6.9	42	44	2
7.0～	4	4	0
合計	717	1599	882
<p>震央分布</p> <p>「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生から翌日まで。矩形は余震域を示す。</p>			

※マグニチュードが決定できない地震を含む